（別紙２）

審査の結果の要旨

氏名　徐　子怡

中国では 1986 年に村上春樹作品が翻訳されて以来、熱い村上文学受容が続いており、「70 後」「80 後」（各々1970 年代、80 年代生まれを指す）世代から多くの村上チルドレン（以下「MC」と略す）作家が育ち、現代文化の主流を形成しつつある。

本論文の第 1 章は、1986～2015 年における村上作品の翻訳・出版状況を、特に 2 回の版元変更に注目して整理し、70 後 80 後現象の出現および MC 誕生成長の経緯を考察している。第 2 章は大家クラスの MC 流行作家である「1 組」を対象として、先ず衛慧による『ノルウェイの森』（以下「『森』」と略す）のテーマ「青春と成長」の段階的受容を分析し、次に慶山による村上作品に対する模倣的創造の実践を解明し、さらに郭敬明が広範な特定世代の読者から強く支持され、文学・商業の両面で成功した点を論じている。

第 3 章は「1 組」より約 10 年遅れて登場した新進作家の「2 組」を取り上げ、忘却魚鱗の『関於彼岸的一切』（2009 年）が構成から会話に至るまで『森』『風の歌を聴け』に酷似している点、孔亜雷の『不失者』（2008 年）に『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』『ねじまき鳥クロニクル』等に対する「オマージュ」が見出される点、李修文の日本を舞台にした中国人青年の物語『滴涙痣』（2002 年）が中国版『森』とも言うべき作品である点等を考察し、「2 組」は独自の作風を確立するに至らぬ点を指摘している。

第 4 章は人気書き込みサイトの豆瓣網ユーザーとしての MC 読者である「3 組」に対して実施したネットインタビューを分析して、回答者の基本状況・村上読書初体験などの視点から、青年層の身心成長過程における村上受容状況を考察している。また豆瓣網ユーザー読者から作家へと成長した楊小涅による『ノルウェイの森２』創作過程を分析するいっぽう、既訳の村上作品の読書を数量的に分析して、村上読書状況を可視化してもいる。第 5 章は 2011 年 9 月に中国で劇場公開された映画版『森』の約 30%カットという改編等に注目し、同作の中国における受容を考察した。終章は MC による村上受容を総合的に検討し、現代中国における MC・村上ファッション・村上読者などの各グループ間の関係を「中国における MC・村上ファッション相関図」に整理した。

本論文は MC の概念を拡大することにより、研究対象を大家クラスの作家層から新進作家層および一般読者にまで広げ、小説作品に対する緻密なテクスト分析を行なった。また固定ハンドルネームを持つサイト投稿者を対象にアンケートを行うというフィールドワーク的文学研究法を創出して、個人史を踏まえた読書歴の統計的可視化を可能にした。これらにより村上読書の地理的拡大と中国社会の激変との時空的相関関係を明らかにし、現代中国における村上受容の様相を批評的にして可視的に描き出すという顕著な成果をあげている。未だ「2 組」作品に対する批評的分析の不足等の課題を残すものの、本審査委員会はその内容が博士（文学）の学位を授与するに十分な水準に達しているとの結論を得た。